

長万部の

教育

コーナー



ちいさな
しあわせ

いずみ保育園

「あといくつ寝たら遠足？」
と何日も前から楽しみにして
いた園児達でしたが、朝起き
ると雨がしとしと降っていて
がっかり。いつも通りに登園
し、保育園での一日が始まり
ました。中止にはなっ

ひとときです。「お天気に
なったら必ず遠足しようね」
と約束すると、満足そうにス
ヤスやお昼寝。明日もまた、
「ちいさなしあわせ」見つか
るかな？

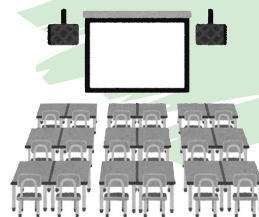
たけれど、皆の顔はに
こにこです。それはホ
ールでお弁当が食べら
れるからです。お部屋
からリュックをしよつ
て目的地のホールに着
くと色取り取りのシー
トを敷いてお弁当を並
べます。いつもより一
層張り切って作って下
さったお母さんのお弁
当に歓声が広がります。
お友だちとの会話も
弾み、賑やかで楽しい



見て！僕のお弁当！

「今、キャンパスでは」

東京理科大学



キャンパスの敷居



理科実験教室

お蔭様で「ブラウン先生の
英会話教室」は盛況で、毎週
水曜日、小学生から大人まで
富野のキャンパスに足を運ん
でいただいています。そんな
折、気になるのは「大学の敷
居が高い」という町民の方の
ご意見。創設から30年を経た
キャンパスとして残念だとい
うのが率直なところ。大学側
の努力不足を反省です。
そうした反省もあって、昨
年度からキャンパスでは「学
外貢献委員会」を組織。あら
ためて、みなさまとの交流の
促進に努めています。
おなじみの「ピタゴラス」

や「理科実験教室（小学校）」で
先生役の学生、あるいは桜祭
りや毛ガニ祭、そして文化祭
に派遣され活躍する大勢の学
生ボランティア。キャンパス
にいらつしやれば元気で人好
きのする彼らの日常を見てい
ただけます。
そして毎年、小中高校から
学内見学や模擬授業受講で
キャンパスに来てくれていま
す。また、今年度も不定期で
すが夏から中学生向けの「科
学実験教室」が始まります。
12月に予定されている「わく
わく自然塾」（小学生向け）と
「ハートフルコンサート」も

キャンパスで実施されます。
もちろん10月の「学寮祭」に
も大勢の方がお越しくださ
れと願っています。

町とキャンパスのおつきあ
いも31年目に入りました。そ
のうち、さらに新しい試みも
出てくることと思います。
もっと気軽に越えたいだけ
るよう、キャンパスの敷居を
ますます下げていきたいとこ
ろです。

東京理科大学

学外貢献委員会幹事

村上 学

写真で見る 学校の様子

長万部中学校

長万部小学校



2年生 体育授業参観 4/17



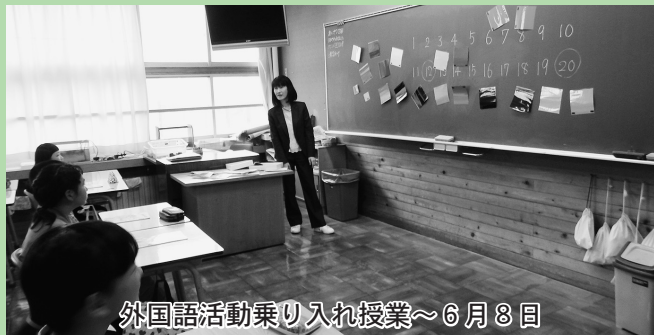
3年生 見学旅行 5/10～5/12



1年生 校内陸上競技大会 入場行進 5/20



あきらめずにやりきった大運動会～6月3日



外国語活動乗り入れ授業～6月8日



最後まで歩き続けた春の遠足～6月9日



『ジンギスカン!』と『給食のかに飯!』

北海道長万部高等学校長

目谷信靖

長万部にきて2年目の夏を迎えようとしています。内浦湾と遠くに見える駒ヶ岳の美しさ、美味い海の幸や山の幸、どのお店もボリューム満点!採算度外視!、泉質の良さが自慢の温泉、地域の方々の純朴で優しい人柄、どれをとっても◎で、長万部での生活を満喫させていただいています。そんな長万部の生活に、最近、二つの嬉しいことが追加されました。

一つ目は、長万部も毎年全員で参加をさせていただいている5月13日(土)、写万岳の山開きの出来事でした。当日は、今にも雨が降ってきそうなあいにくの空模様。頂上付近は、濃霧で所々滑りやすくなっているとのこと、4合目付近からの下山を余儀なくされました。私が最後尾の生徒とゆくり降りていくと、上の方から何やら降ってくる音が、だんだんとかげ声が近づいてきます。どうやら静狩小学校の子どもたちのようです。

「ジンギスカン!」と「給食のかに飯!」天候の悪い中、オリジナルのかけ声で、お互いを励まし合いながら全校生徒10名の子どもたちが、アツという間に私たちを追い越して行きました。下山後のお楽しみであるジンギスカンにまつしぐらです。「めんどくさい!」私は、子どもたちの元氣なかけ声と姿に、思わずニッコニコの笑顔になりました。

二つ目は、6月21日(水)の給食メニューに、私にとって幻のかに飯が登場したこと。赴任した際に、当時の教頭先生から「校長先生、小学1年生の給食初日のメニューは、かに飯で決まってるんです」と言われ、「さすが長万部!」とびっくり。なのに、昨年度は、かに飯の日と道南公立学校の校長会と同じ日にあり食べられず。今

年こそはと、4月の給食メニューが届いた日に、かに飯の日をチェック:あれれ!!いくら目を凝らしても4月のどこにも、かに飯がありません。が、1人!私にとって給食のかに飯は、幻に:なるはずが見事に6月に復活してくれました。

※この原稿を書き終えたのが、6月13日。原稿が掲載されるのが、7月号が、発行された時には、堪た美味い給食のかに飯を堪能できたはず。

※後日、栄養教諭の佐藤先生にお会いする機会があり、かに飯が今年度から6月に移った理由を聞く。と「長万部の毛が1年生の給食初日のメニューが、1年生の給食初日のメニューから終わるまでにとっても時間がかかった。そんなきめ細やかな配慮があったんですね。」

自分にとっての二つの嬉しさは、本当に些細なことかもしれない。地元のなかからと「なんだそんなことか!長万部の子どもたちがめんこかつたり給食でかに飯が出るなんて当たり前!」と大部分の人が思うのかもしれない。でも、私のような転勤族で外からやって来た者の方が、当たり前に「長万部の良さ」を敏感に感じることが出来る!もう一度、地域のみなさんで「長万部の良さ」を再発見することが、新幹線開業を核とする新しい町づくりのヒントになってくれるはず。

最後に私は、声を大にして言いたい。「今時、大きな声を出せるめんこ小学生はめったにない!給食にかに飯が出てくる町なんてない!長万部をもっと自慢してください!」